

視 察 報 告 書

1 視察年月日

平成31年1月21日から1月22日まで

2 視察場所

平成31年1月21日（月）福岡県直方市役所

平成31年1月22日（火）山口県下関市役所

3 視察事項

直方市役所

①自転車のまちづくりについて

- ・事業概要、経費
- ・事業効果と今後の展開

②観光PRソングについて

- ・事業概要、経費
- ・事業効果と今後の展開

下関市役所

○消防行政について

- ・消防団加入状況
- ・消防団入団促進の取り組み状況と効果
- ・消防防災学習館の概要や建設及び維持管理経費、学校教育等との連携状況と今後の展開

4 視察参加者（4名）

赤羽直一、渡部日出雄、岩澤 信、小堤 修

5 視察行程

別紙のとおり

6 視察報告

別紙のとおり

上記のとおり報告します。

取手市議会議長 入江洋一 殿

平成31年2月21日

取手市議会会派はやぶさ代表者 佐藤 清 ㊞

取手市議会会派はやぶさ代表 佐藤 清 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 岩澤 信

1 視察日

平成31年1月21日（月）

2 視察先

福岡県直方市

3 調査項目

- ・自転車のまちづくりについて
- ・観光PRソングについて

4 視察内容

1月21日月曜日に福岡県直方市役所にて「自転車のまちづくりと観光PRソング」について行政視察を行いました。

（直方市の概要）

福岡県の北部にあり、遠賀川に沿ってひらける直方平野のほぼ中心に農村集落と農地からなる緑地空間があり、大都市近郊でありながら、豊かな自然に恵まれています。人口は56,773人（平成30年12月現在）で、昭和60年をピークに減少傾向、高齢化率は32.6%となっています。交通ネットワークとして、JR九州・平成筑豊鉄道・筑豊電気鉄道の3つの鉄道、JR九州バス・西鉄バス・コミュニティバスの3つのバスがJR直方駅周辺に集積され公共交通の拠点となっています。

「自転車を活用した取り組みについて」

直方市産業建設部商工観光課から自転車を活用した取り組みに至る背景として、自転車活用推進法の成立や直方北九州自転車道（33.6km）の全線開通の経緯、滞在交流型観光への転換、また自転車旅行などを目的とした海外観光客の需要や、自転車をきっかけとした直方の観光地域づくりの醸成を伺いました。

直方市のスポットとして遠賀川水辺館や

直方オートキャンプ場、また自転車を取り扱うジャイアントストア直方などがあり、自転車とつながる環境が整備されていました。

直方市の自転車施策については、地域づくりモデル事業の推進、自転車道沿線自治体を含む広域連携での取り組みや、自転車アドバイザーの活用を掲げています。平成29年12月に自転車ロードレースの元プロ選手の栗村修氏を招き、「自転車の楽しさや普及について・観光分野での自転車をテーマにしたまちおこし」講演会を開催、多くの参加者でにぎわいました。自転車道リーフレットの制作や市内公共施設にサイクルスタンドを設置するなど受入環境設備の取り組み、県内3つの部会エリア（福岡・北九州・筑後）に分かれて、広域モデルルートを設定、情報発信を行うことで県域内外からの自転車観光客の増加につながる取り組みがありました。他にはモデルルートのモニターライド、中間市・鞍手市・直方市のポタリングマップの作成、三船雅彦氏が自転車アドバイザーに就任するなど、多くの事業を展開しています。今後の取組として、サイクルスタンド制作イベントの実施と木製サイクルスタンド設置、サイクリストの受入環境整備に関してサイクリングコースの検討・サイクリスト受入推進企業登録制度の推進、イベントに関しては自転車道開通時に向けたPRイベントの企画検討があります。

「直方市観光PRソングについて」

直方市出身のジャズシンガー野上結美氏が歌い手となり、直方市が持つ魅力を広くPRするため、直方市の歴史・文化・食など様々な観光資源を取り入れたジャズ調のPRソング「のおがたフレンズ」を作成、観光案内所オープニングセレモニーや、のおがた産業まつりなど多くの場所で活用されています。今後の活用としては、直方駅構内でのBGMなど多方面での活用を検討しています。

今回、行政視察で伺った直方市は、自然の豊かさを活かした自転車の取り組みがまちの魅力醸成につながり、取手市にとっても大きな可能性を感じさせていただく事ができました。また多くの課題としても、直方市だけではない「課題」として捉える事ができました。

以上、行政視察報告といたします。

取手市議会会派はやぶさ代表 佐藤 清 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 赤羽 直一

1 視察日

平成31年1月22日（火）

2 視察先

山口県下関市役所

3 調査項目

○消防行政について

- ・消防団加入状況
- ・消防団入団促進の取り組み状況と効果
- ・消防防災学習館の概要や建設及び維持管理経費、学校教育等との連携状況と今後の展開

4 視察内容

1月22日午前10時に下関市消防局を訪問し、視察を行いました。

1. 消防団加入状況については、定員1,977人のところ実員1,894人、充足率95.8%、大変高率な充足率である。

（このうち女性66人、市職員146人、平均年齢43.1歳）

2. 消防団入団促進の取り組み状況と効果

1) 下関市消防団PRキャンペーン実施業務

<目的>

雇用失業情勢に鑑み実施された、平成23・24年度緊急雇用創出事業として下関市消防団PRキャンペーンを市内全域で展開し、消防団の存在と活躍を市民に広く認知してもらうと共に消防団員の士気の向上を図ること、併せて消防団員の入団促進を図り団員確保を目指す。

<業務内容>

- ・アンケート調査
- ・集客施設やイベント会場等におけるキャンペーン
- ・消防関係者のラジオ出演
- ・広報誌の作成及び配布
- ・マスコットキャラクターの制作

モセキ君とコモセキ君を制作（モセキとは若者が使用する下関

の略称)

2) 消防団PR等支援自動販売機

<企画趣旨>

コカ・コーラウエスト株式会社より自動販売機を消防団のPR媒体として活用すると同時に、消防団員の募集及び運営資金の支援を行いたいとの提案があり平成24年から開始した。

<内容>

下関市消防団PR等専用デザインの自販機及び空容器回収BOXを設置し、市民の方々に下関市消防団をPRするとともに、売上金の約20%が下関市に寄付されるもの。

H30年10月現在、市内9カ所に設置。

3) 消防団入団促進CM放送業務

<経緯>

平成28年度に総務省消防庁が実施する「女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」に関する提案募集があり、消防団をPRするCMを作成し、県内の民間放送局で放送する内容で応募したところ採択されたもの。

<事業費>

事業費の上限である250万円（全額国費）

4) 学生消防団活動認証制度

<内容>

大学、大学院若しくは専門学校に在学しながら、真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、地域社会に貢献をした者について、本市がその功績を認証することにより、就職活動を支援し、もって地域における大学生等の消防団活動への参加を促進する。

<対象者>

- ① 大学等の在学中に本市の消防団として1年以上（過去に他の市町村の消防団において活動実績が有る者については、当該消防団において活動していた期間を合算することができるものとする。）継続的に消防団活動を行った者。
- ② 消防団長が、大学等の在学中における本市の消防団員としての活動について、特に優れた功績があると認めた者

5) 女性消防団の活動

- ・消防出初め式や防災フェア等のイベントでのPR
- ・女性団員を起用したCM制作と放送
- ・テレビや新聞の取材時に積極的に女性団員を活用
- ・操法大会に出場して活躍ぶりをPR

<全国女性消防操法大会に出場>

- 平成21年度開催(19回大会)第18位
- 平成23年度開催(20回大会)第7位
- 平成27年度開催(22回大会)第2位

6) 消防団協力事業所表示制度

平成19年4月から消防団協力事業所表示制度を開始し、

平成31年1月1日現在、29事業所を協力事業所として認定。

平成28年度からは、建築工事総合評価競争入札において地域貢献度の加点項目に消防団協力事業所の登録の有無が追加され17事業者が増加した。

7) 消防団員優遇措置

平成28年度より、毎年3月に消防団互助会が発刊し、全消防団員に配布する新聞「きずなマガジン」に、地元の企業等のご協力によりクーポン券を掲載し、梨農園やスポーツジム、道の駅等(11事業所)の特典を受けられるようにした。

以上のような取り組みで消防団の団員確保に努めている。

3. 消防防災学習館の概要や建設及び維持管理費、学校教育等との連携状況と

今後の展開

1) 施設設置の経緯と目的

火災発生時の初期対応を模擬体験させることで、市民の火災予防や防火意識の啓発を図ると共に、発生が危惧される南海トラフ巨大地震や近年の豪雨・土砂災害など、頻発する自然災害に対する知識やその対処方法について学習することを目的に消防庁舎建設に合わせて学習施設を整備した。

2) 運営体制

<人員>

- ・指導員3人（非常勤職員）にてシフトを組んで運用
（学習館平均稼働日24日）
- ・うち1人は消防OBを採用し、専門的な知識の教育に当たっている
- ・必要な場合には防火指導員や予防課職員が対応

<運営費>

- ・委託料（保守点検） 約150万円
- ・消耗品等 15万円
- ・人件費（非常勤職員3人分）

<開館時間等>

- ・午前9時30分から午後4時30分まで
- ・休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
12月29日～翌年1月3日まで

3) 防災教育

<小・中学校と連携したメニュー>

- ・当初から小学校、中学校の社会科見学を想定
約1時間30分程度で一通りの体験コースを実施
体験コースの中には情報指令課の指令台見学及び消防車両見学も含む。
- ・小中学校長会、幼保こども園長会でPRを実施

<市民を対象とした特別企画を実施>

- ・各家庭で防火防災を今一度考えて頂くために実施
火消鯨での各種体験に併せ、起震車による地震体験、はしご車搭乗体験及びスケッチ大会を実施

4) 災害時に備えて

<備蓄品の保管>

- ・体験学習を目的とした施設で、備蓄品の保管はしていない。
よって、下関市の備蓄品はどのようなものがあるか、また各個人でどのような物を備蓄していくべきかを展示品を使用して考えて頂く。

<避難場所の指定について>

- ・消防機関に付属しているため、避難場所には指定されていない。
下関市のハザードマップを活用して避難場所の説明を実施している。

5) 効果

- ・従来は消防職員が各施設に出向して防火指導を行ってきたが、これに加えて多くの市民が学習館を訪れ、受動的でなく自発的に防火防災について学ぼうとする市民の要望にこたえることが出来た。
- ・平成25年の下関市の火災発生件数107件と3桁火災が発生していたが、平成26年から平成30年は件数が2桁台となり、明らかに減少傾向にある。これは消防局及び各消防署の火災予防広報等の徹底も大きな要因として考えられるが、学習館での住宅用火災警報器の設置を含む防火指導等も火災件数減少の一役を担っているものと考えている。

以上 下関市の視察報告とします。

平成31年1月24日

取手市議会会派はやぶさ
代表 佐藤 清 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 小堤 修

- 1 視察日
平成31年1月22日（火）
- 2 視察先
山口県下関市役所
- 3 調査項目
子育て支援策について ふくふくこども館

4 視察内容

(1) 下関市の概要

当市は、平成17年2月の1市4町合併により、人口約30万人、面積約175平方キロメートルの中核市となった。都市機能の整備と優れた都市環境を形成するため、温暖な気候、交通の要衝、豊かな歴史と自然に恵まれた県下最大の地方核都市として、未来に向けた理想的な都市づくりを進めている。

(2) 施設の経緯

当該施設は、下関駅周辺整備事業である「下関駅にぎわいプロジェクト」として平成17年の基本構想発表から遂次駅周辺の整備が進められ、平成26年4月1日に下関市次世代育成支援拠点施設として運用開始された。

(3) 施設概要

JR下関駅ビルの3階全体約2672㎡を占有し、プレイランド、交流スペース、多目的室、こども一時預かり室及び相談室から構成され、運営は指定管理者制度とし、「下関こども未来創造ネット（共同事業体）」による。

(4) 施設状況

来館者数は、平成29年度には20万人を超え、市内・県内各市から、また約3割は県外の北九州市、福岡市等から来館している。子育て中のリフレッシュや冠婚葬祭・急なお出かけなどに対応するための「こども一時預かり室」や子育ての悩みを抱え込まないよう選任スタッフによる「相談室」を設けている。

施設は、主に就学前のこどもが対象であり、遊具の衛生管理に配意し、特にこまめな消毒等を実施している。プレイランドは、いくつかのコーナーに区切られており、まるで屋内の公園のようであった。

5 所感

取手市も、人口減少と駅前再活性化に対する方策として、駅周辺の整備による「にぎわいや交流の創出」、「再生と回遊拠点の創出」が大切であり喫緊の課題と認識するだけでなく、早急に解決していかなければならないと痛切に感じた。

以上、下関市の視察報告とします。

茨城県取手市議会会派「はやぶさ」行政視察研修行程表

○1月21日(月)

赤羽宅_____茨城空港 SKY831 福岡空港(レンタカー)直方市役所視察____
6:00 発 7:35 発 9:40 着 13:30~15:30

____ホテル
17:00 着予定

- ・福岡県直方市議会事務局
住所：直方市殿町7-1 (〒822-8501)
電話：0949-25-2000 (代表)

【研修事項】

- ①自転車のまちづくりについて
 - ・事業概要、経費
 - ・事業効果と今後の展開
- ②観光PRソングについて
 - ・事業概要、経費
 - ・事業効果と今後の展開

【宿泊先】

ドーマーインプレミアム下関
住所：山口県下関市細江新町3-40
電話：083-223-5489

○1月22日（火）

ホテル ____ 下関市視察（消防） ____ ふくふく子ども館視察（子育て支援） ____
9:30 10:00～11:50 13:30～15:00

（レンタカー） 福岡空港 SKY836 茨城空港
18:35 発 20:10 着予定

・ 山口県下関市議会事務局

住所：下関市南部町1-1（〒750-8521）

電話：083-231-1111（代表）

【研修事項】

○消防行政について

- ・ 消防団加入状況
- ・ 消防団入団促進の取り組み状況と効果
- ・ 消防防災学習館の概要や建設及び維持管理経費、学校教育等との連携状況と今後の展開

○子育て支援策について

- ・ ふくふくこども館見学

（住所）下関市竹崎町四丁目3-3 JR 下関ビル3階